

第 41 回沖縄平和行進に参加して

全港湾関西地方大阪支部
青年部事務局次長 小玉貴文

2018年5月10日(木)～14日(月)第41回沖縄平和行進に初めて参加しました。参加するまでは、沖縄で起こっているさまざまな問題、苦悩や困難について深く考えた事はありませんでした。しかし実際に足を運んで色々な話を聞いたり見たりすると徐々に事の重大さに気づきました。1日目に那覇空港に降り立った時、航空自衛隊の戦闘機やヘリなどが民間航空機と同じように並んでいて驚きました。その後平和行進団結式を行い、学習会、交流会が行われました。2日目からは行進が始まりました。【命どう宝ー!】、などシュプレヒコールをしながら約20キロの道のりを行進し、道中ではひめゆり資料館へ立ち寄りしました。そこでは、沖縄で起こった戦争について写真や資料を通じて学び、目をそらしたくなるような写真等が多く展示されていたのを見て、改めて戦争は二度と繰り返してはいけないと強く思いました。3日目は2日目と同様シュプレヒコールをしながら行進し、夜には全国の仲間と親交を深めるBBQが行われました。3日間約40キロの道のりを歩き、時折現地の住民の方に声をかけていただき激励を受け、沖縄の人たちがどれほど犠牲を強いられているのか、平和を望んでいるのかを痛感しました。最終日は辺野古海上視察やゲート前の座り込みに参加しました。ゲート前の座り込みにおいては同じ日本人の警察に引きずられるようにして撤退を余儀なくする姿を見て理解できませんでした。一体日本の警察、政府はどちらの味方なのか、一瞬胸が熱くなりました。今回、沖縄平和行進に参加して色々なことを考えさせられ、本当に勉強になり、辛い事実もたくさん知りました。全体を通してとてもいい経験になりました。ありがとうございました。